

# 芦別市における景気動向調査報告書

《令和5年第I四半期》

芦別商工会議所経済地域振興委員会

## I. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 令和5年4月1日
- (2) 調査対象期間 令和5年1月から3月期実績及び令和5年4月から6月期の見通しについて調査した。

### 2. 調査対象及び調査方法

- (1) 調査対象  
『令和5年度特定商工業者名簿』に掲載されている事業者の中から、製造業20事業者、建設業20事業者、卸売業10事業者、小売業30事業者、サービス業20事業者の5業種100事業者を対象とした。
- (2) 調査方法  
調査対象に対して調査票をFAXで送付し、FAXにより回答をいただいた。

### 3. 業種別回答状況（事業者数）

業種	事業者数	対象事業者数	回答事業者数	回答率
製造業		20 事業者	11 事業者	55.0 %
建設業		20 事業者	9 事業者	45.0 %
卸売業		10 事業者	4 事業者	40.0 %
小売業		30 事業者	16 事業者	53.3 %
サービス業		20 事業者	6 事業者	30.0 %
合計		100 事業者	46 事業者	46.0 %

※ 本調査報告書中の「D・I」値 とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

## Ⅱ. 概況 《全体の動き》

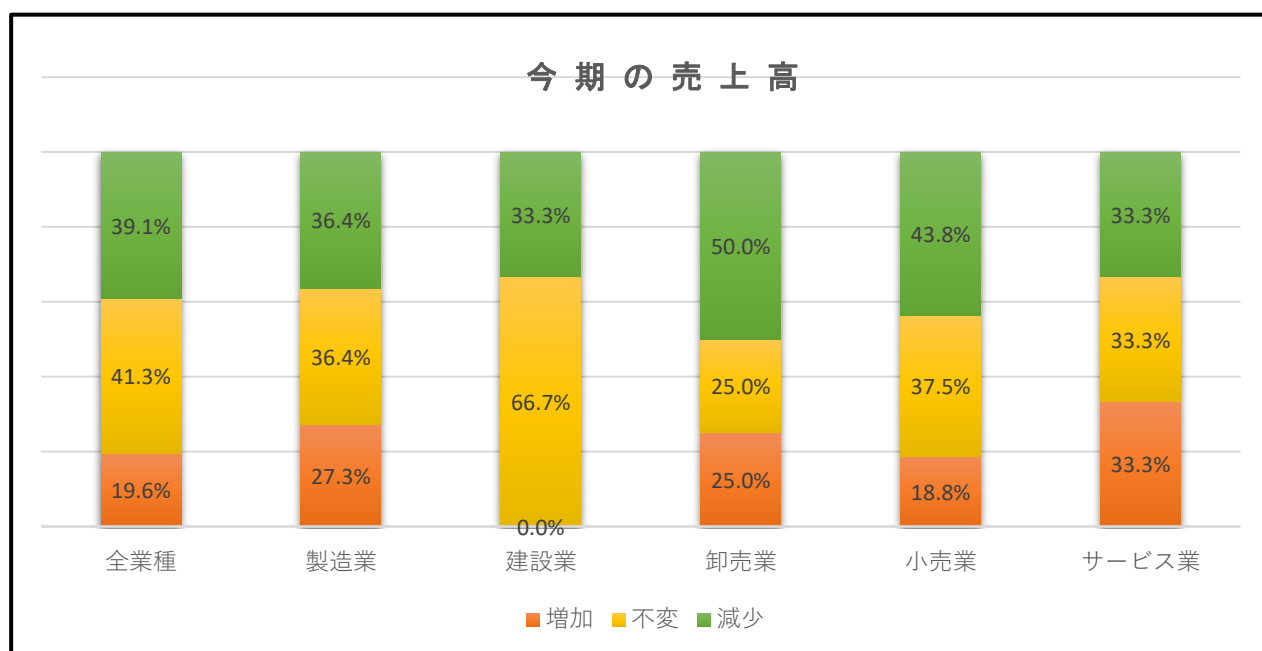
令和5年第Ⅰ四半期（1月～3月）の芦別市における売上高（製造業は生産高、建設業は工事完成高）は、全業種で見ると前年同期比で「増加した」と答えた事業者の割合が19.6%、「減少した」と答えた事業者の割合が39.1%で、「増加」から「減少」を差し引いたD・I値は△19.6となっております。来期（4月～6月）売上高の見通しを全業種で見ると、「増加する」と答えた事業者の割合が17.4%、「減少する」と答えた事業者の割合が37.0%で、D・I値は△19.6となりました。

また、経営課題としては、全業種において「経費の増加」、「人材不足」、「顧客需要の停滞・変化への対応」、「事業設備の不足・老朽化」と回答した事業者が多く、その他の課題としては「資材の高騰」「人口減と高齢化」、「市内のマーケットサイズの激減」などの回答が寄せられております。

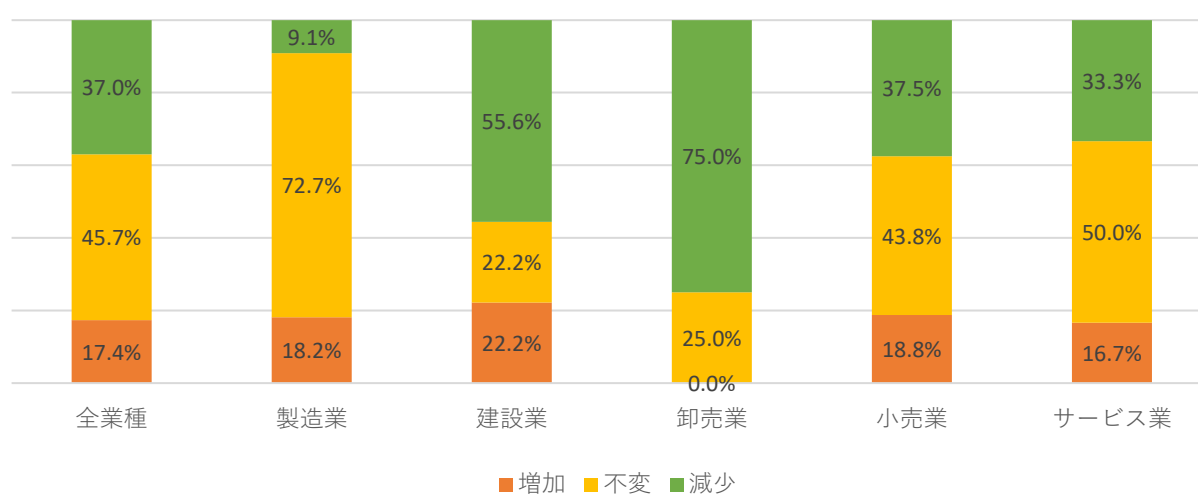
### 業種別D・I《売上高》

売上高 (%)	今期（令和5年1月～3月）の実績 （前年比）				令和5年4月～6月の見通し （今期比）			
	増加	不変	減少	D・I値	増加	不変	減少	D・I値
全業種	19.6	41.3	39.1	△19.6	17.4	45.7	37.0	△19.6
製造業	27.3	36.4	36.4	△9.1	18.2	72.7	9.1	9.1
建設業	0.0	66.7	33.3	△33.3	22.2	22.2	55.6	△33.3
卸売業	25.0	25.0	50.0	△25.0	0.0	25.0	75.0	△75.0
小売業	18.8	37.5	43.8	△25.0	18.8	43.8	37.5	△18.8
サービス業	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	50.0	33.3	△16.7

※ 製造業は「生産高」、建設業は「工事完成高」を示す。



### 来期の売上見通し



### 業種別D I 《資金繰》

資金繰 (%)	今期 (令和5年1月～3月) の実績 (前年比)				令和5年4月～6月の見通し (今期比)			
	好転	不変	悪化	D I 値	好転	不変	悪化	D I 値
全業種	8.7	69.6	21.7	△ 13.0	6.5	71.7	21.7	△ 15.2
製造業	9.1	72.7	18.2	△ 9.1	9.1	81.8	9.1	0.0
建設業	0.0	77.8	22.2	△ 22.2	0.0	66.7	33.3	△ 33.3
卸売業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	△ 25.0
小売業	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	6.3	62.5	31.3	△ 25.0
サービス業	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	16.7

※ 業種別D I 《売上高》及び業種別D I 《資金繰》の数値については、小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

## 《業種別の動き》

### ① 製造業

#### 生産高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は27.3%、「減少した」と答えた事業者の割合は36.4%で、D・I値は△9.1となりました。来期の見通しでは、「増加する」と答えた事業者の割合が18.2%、「減少する」と答えた事業者の割合が9.1%、D・I値は9.1となっており、来期については、生産高の増加に若干の明るい兆しが見えてきているようです。

#### 資金繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は9.1%、「悪化した」と答えた事業者の割合は18.2%で、D・I値は△9.1となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が9.1%、「悪化する」と答えた事業者の割合が9.1%、D・I値は0.0となっており、資金繰りについては今期と変わらない状況が続くと予測しています。

### ② 建設業

#### 工事完成高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は0.0%、「減少した」と答えた事業者の割合は33.3%で、D・I値は△33.3となりました。来期の見通しでは、「増加する」と答えた事業者の割合が22.2%、「減少する」と答えた事業者の割合が55.6%、D・I値は△33.3となっており、来期についても厳しい状況が続くと予測しています。

#### 資金繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は0.0%、「悪化した」と答えた事業者の割合は22.2%で、D・I値は△22.2となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が0.0%、「悪化する」と答えた事業者の割合が33.3%、D・I値は△33.3となっており、資金繰りについても厳しい状況が続くと予測しています。

### ③ 卸売業

#### 売上高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は25.0%、「減少した」と答えた事業者の割合は50.0%で、D・I値は△25.0となりました。来期の見通しでは、「増加する」と答えた事業者の割合が0.0%、「減少する」と答えた事業者の割合が75.0%、D・I値は△75.0となっており、来期についても厳しい状況が続くと予測しています。

#### 資金繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は0.0%、「悪化した」と答えた事業者の割合は0.0%で、D・I値は0.0となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が0.0%、「悪化する」と答えた事業者の割合が25.0%、D・I値は△25.0となっており、資金繰りについても厳しい状況が続くと予測しています。

④ 小 売 業

売 上 高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は18.8%、「減少した」と答えた事業者の割合は43.8%で、D・I値は△25.0となりました。来期の見通しでは、「増加する」と答えた事業者の割合が18.8%、「減少する」と答えた事業者の割合が37.5%、D・I値は△18.8となっており、来期についても厳しい状況が続くと予測しています。

資 金 繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は12.5%、「悪化した」と答えた事業者の割合は37.5%で、D・I値は△25.0となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が6.3%、「悪化する」と答えた事業者の割合が31.3%、D・I値は△25.0となっており、資金繰りについても厳しい状況が続くと予測しています。

⑤ サービス業

売 上 高

前年比で「増加した」と答えた事業者の割合は33.3%、「減少した」と答えた事業者の割合は33.3%で、D・I値は0.0となりました。来期の見通しでは、「増加する」と答えた事業者の割合が16.7%、「減少する」と答えた事業者の割合が33.3%、D・I値は△16.7となっており、来期については減少に転じると予測しています。

資 金 繰

前年比で「好転した」と答えた事業者の割合は16.7%、「悪化した」と答えた事業者の割合は0.0%で、D・I値は16.7となりました。来期の見通しでは、「好転する」と答えた事業者の割合が16.7%、「悪化する」と答えた事業者の割合が0.0%、D・I値は16.7となっており、資金繰りについては今期と同様に比較的良好な状況が続くと予測しています。

《業種別 経営上の問題点》

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全業種	経費の増加	人材不足	顧客需要停滞	設備老朽化等	コロナの影響
製造業	経費の増加	人材不足	設備老朽化等	顧客需要停滞 その他 (資材の高騰等)	取引条件悪化 コロナの影響 資金調達困難 後継者不在
建設業	人材不足	経費増加 顧客需要停滞	設備老朽化等	取引先倒産等 資金調達困難	—
卸売業	顧客需要停滞	コロナの影響 設備老朽化等 人材不足	経費増加 取引先倒産等	—	—
小売業	経費の増加	顧客需要停滞 人材不足	コロナの影響 その他 (人口減と高齢化等)	取引条件悪化 設備老朽化等 後継者不在	同業等と競合
サービス業	経費の増加	人材不足	顧客需要停滞 設備老朽化等 取引先倒産等 同業等と競合	—	—